

TICAD 7全体会合3官民ビジネス対話テーマ1-1「日本の民間の要望と取り組み」
横井靖彦アフリカビジネス協議会共同議長（経済同友会アフリカ委員会委員長）

2019年8月29日

- 経済同友会アフリカ委員長の横井です。本セッションで進行役を務めさせていただきます。本セッションは「日本の民間企業の要望と取り組み」をテーマに議論いたします。発言者はこちらから指名いたします。
まずは「アフリカビジネス協議会」を代表し、私から当協議会設立の背景と概要をご紹介します。
- アフリカは今、健全で持続的な成長を目指して、さまざまな社会課題を乗り越えようとしています。そこに、ビジネスの力を活かして貢献したい、アフリカが自立的に経済発展するための応援をしたい。そう考え、行動を起こす日本企業は着実に増えてきました。
- ただ、その動きは未だ広がりやを欠いています。多くの企業は、アフリカのダイナミズムと潜在性に注目しつつも、アフリカに馴染みがないゆえの不安と、制度や法令などビジネス環境への懸念から、進出の足を鈍らせています。そこには企業努力だけでは乗り越えられない壁が存在しています。
こうした状況を打開するためには、「日本の官民が力を結集することが不可欠である」との思いが契機となり、「アフリカビジネス協議会」が発足しました。
- さて、協議会の概要です。アフリカビジネス協議会は常設の会議体であります。メンバーとして、民間から、多様な業界や規模の企業が、また官側から、アフリカ政策に関わる全ての省庁と政府および国際機関が参画しています。
まさに官民一体で、企業進出につながる具体的な施策とアフリカ諸国に期待する取り組みについて協議します。そして、その成果を、今後TICADを始めとする日・アフリカのビジネス対話の場で皆さんと共有し、次なる行動へと繋げていきます。
- 協議会では、「日本企業の力を活かしてアフリカの課題解決に貢献する」という原点に立ち、4つの分野を定め、それぞれワーキング・グループを立ち上げました。
- そのうち、インフラ、ヘルスケア、農業の各分野は、各国での優先度が高く、複数の課題が存在しています。ここでは日本ならではのアプローチとして、参加企業がそれぞれ得意とする技術やノウハウを持ち寄り、協力し合うことで、一企業

だけでは出来ない、幅広いソリューションづくりを目指していきます。

- また、アフリカビジネスのフロントランナーを早急に増やすために、意欲と機動力のある、中堅中小企業やスタートアップの進出を加速するためのワーキング・グループも設けました。
- このように、われわれは、従来の取り組み方を「モデルチェンジ」し、官民が一体となってビジネスにおけるアフリカとの関係強化を進めていきます。目指すのは日本とアフリカが win-win の関係を築くことです。その実現のためには、アフリカの官と民との4者の連携に、国際社会を加えた重層的な連携が必要となります。
- 各国政府の皆様には、ビジネスの力を自国の経済発展に結びつける土壌づくりとして、特にビジネス環境の整備について「内なる変革」の推進をお願いします。今後ワーキング・グループの活動が動き出し、建設的な提案をしていくことが、変革の加速につながることを願っています。
- アフリカの民間セクターの皆さま、われわれの提案する取り組みを実際に展開する上で、現場のニーズを熟知し、現場での知恵と実践力のある皆様との協力はとても重要です。今後、相互の交流を深め、将来は共通のゴールに向け幅広いコラボレーションが生まれることを期待します。
- そして、国際機関の皆様には只今ご説明した新しい取り組みが、より速やかに、円滑に進むよう一層のご協力とご支援を頂きますようお願いいたします。

以 上